

Research Papers : Muslims in Japan No.19

世界と日本のムスリム人口 2019/2020 年

Estimate of Muslim Population in the World and Japan, 2019/2020

店田 廣文

Tanada Hirofumi

早稲田大学名誉教授

**Institute for Multi-ethnic and Multi-generational Societies
Tokyo, Japan**

January 2021

多民族多世代社会研究所
〒202-0001 西東京市ひばりが丘 1-16

Abstract

Estimate of Muslim Population in the World and Japan, 2019/2020

TANADA Hirofumi

(Professor Emeritus, Waseda University)

(Institute of Multi-ethnic and Multi-generational Societies)

In the 21st century, the Islamic societies have played important roles in the political, economic and socio-cultural fields in the World. In this paper, I will show the present status of Muslim population in the World and Japan (as of 2019/2020). The author published the estimated Muslim population in the world for the year 2011 and 2018 before, so the estimated Muslim population described hereafter will be the revised estimate, demonstrating the current situation of Islamic societies in 2019/2020 in terms of population. Regarding the Muslim population in Japan at the end of 2019, the estimated population was about 230 thousands according to the estimate based on the “Statistics on the Foreigners Registered in Japan” and other materials. Especially, in this paper, I will describe the status of Muslim population in Japan in details.

Keywords: Muslim, Population, Estimate, World, Japan

序

日本社会とイスラム社会との本格的な交流は、幕末から明治初期の頃にはじまった。最初の日本人・イスラム教徒（ムスリム）が誕生（入信）したのは、19世紀末のことであり、この頃にはインド系ムスリム商人が、神戸などに居住していた。それから一世紀以上が経過し、2010年末には日本に居住しているムスリム人口は、10万を超える規模にまで増加した。¹ その後も増加が続き、筆者の推計によれば、2016年末時点で約17万人に達した。一方、国内に開設されたイスラム礼拝施設（モスク）は、戦前には3箇所、戦後の1980年代はじめに至るも4箇所に過ぎなかったが、2020年8月現在、モスクの数は110を越えている。²

本稿では、2020年のコロナ禍によって大きく影響を受けることになった日本国内における外国人居住の動向に鑑みて、その直前の2019年末現在の、ムスリム人口の国内居住の実態に着目する。因みに、2020年6月末の在留外国人統計を参照すると、在留外国人数は、約289万であり、前年の2019年末現在には、約293万であったから、約4万人の減少となっている。このような変化が、日本のムスリム人口の動向にも現れていることはほぼ間違いないが、今回の報告では、そうした影響がおよぶ直前の段階でのムスリム人口の推計を行ったことになる。

ここでは、2019年に発表した「世界と日本のムスリム人口 2018年」³に掲載したムスリム人口推計を更新して、2019年/2020年の世界のムスリム人口と日本のムスリム人口に関する推計データを参考資料として提示することを目的とする。ただし、この報告書では、日本のムスリム人口に関するデータをより詳しく取り上げる事として、都道府県別、年齢別、在留資格別などのより詳細なデータを掲示する事とした。各項目の詳細は、本文を参照していただきたい。

巷間では、2025年のムスリム人口が「世界人口の30%」になるというサミュエル・ハンチントンの『文明の衝突』に述べられた推計がよく引用されてきたが、⁴最近では、様々な統計資料や研究をベースにして、より実状に近いと思われる人口推計の試みが行われている。⁵ 筆者も、2000年や2006年の世界人口推計を利用して、それぞれ当時の世界のムスリム人口推計を行ってきたが、⁶ムスリム人口に対する社会的関心も高いことから、2011年および2018年に続き、新たに推計を更新した改訂版を作成することとしたのである。

世界のムスリム人口については、その歴史的な推移と2019年時点の国別ムスリム人口推計等を以下に掲載する。推計方法は、前稿と同じく各国のムスリム人口比率のデータを収集し、国連推計による各国人口を掛け合わせて、国別のムスリム人口を算出した。本稿では国連の「世界人口推計2019年」を使用して、2019年の人口をベースとした推計人口を掲載している。

日本のムスリム人口についても、前稿と同様の方法で推計をおこなう。今回使用する主たる資料は、これまでと同様に、法務省のウェブページから利用可能な「在留外国人統計

2019年12月末」の第1表に記載されている国籍別・在留資格別の在留外国人数である。これを利用して日本に住んでいる外国人ムスリムおよび日本人ムスリムの人口について推計した。この他、都道府県別、年齢別などの在留外国人統計を適宜利用した。なお本稿では人口推計のデータを資料として提示することを目的としており、推計結果の内容についての解説などは割愛した。

付記：

本稿の巻末には、イスラム礼拝所である、モスク(マスジド)の設立状況に関するリストを掲載した。項目は、モスク名、所在地(都道府県と市区町村)、開設年次である。

1. 世界のムスリム人口

世界の宗教人口推計によれば、1900年のムスリム人口は1億9994万人(世界人口の12.3%)であったが、1950年には3億1570万人(13.6%)とわずかながら比率は上昇した⁷。その後、世界人口の増加率をしのぐペースでムスリム人口は急増し、筆者の推計によると、2000年のムスリム人口は12億7603万人(21.1%)、そして、2019年現在の世界のムスリム人口は、18億7783万人と世界人口の24.3%である(表1)。

ムスリム人口について国勢調査等によって把握できる国はカナダやイギリスなど少数にとどまっている。また、イスラムには信者数を把握するシステムも存在しないため、ムスリム人口については、民族構成、モスク等の数、外国人人口統計、社会調査など種々の間接的なデータによって、各国のムスリム人口把握が行われてきた。

表1. 世界のムスリム人口推計(1900年～2019年)

	1900年*	1950年**	2000年***	2011年****	2019年
世界のムスリム人口(千人)	199,940	315,700	1,276,030	1,548,969	1,877,830
世界人口(千人)	1,619,626	2,525,779	6,127,700	6,974,036	7,713,468
世界人口に占める割合(%)	12.3	13.6	21.1	22.2	24.3
ムスリム人口年増加率(%)	---	0.92	2.83	1.78	2.44
世界人口年増加率(%)	---	0.89	1.79	1.18	1.27

資料：*World Christian Encyclopedia, 2nd ed. 2001

**1951 Britannica Book of the Year, 1951

***拙稿「イスラーム世界の将来人口」

****拙稿「世界と日本のムスリム人口 2011年」

U.N., *The Determinants and Consequences of Population Trends*, Vol.1, 1973

U.N., *World Population Prospects. 2019: Data Booklet*, 2019. (web ver.)

本稿では、世界のムスリム人口を把握するために、後出の表 3. に注記した 4 つの資料等によりながら、まず各国人口に占めるムスリム人口比率を確定したうえで、国連による「世界人口推計 2019 年」を利用して、2019 年時点のムスリム人口総数を算出するという手順を取った。世界の 200 カ国以上の国・地域にムスリム人口は存在するといわれているが、表 3. に掲示した国・地域以外のムスリム人口は、本稿での推計に含まれない。しかし、それらの国・地域のムスリム人口はきわめて少なく、全体の人口動向は各表に示されているとおりと考えてよいだろう。

まず 2019 年の世界の地域別ムスリム人口の分布割合を示した表 2 により、アジア、アフリカ、オセアニア、アメリカ、ヨーロッパ、ラテン・アメリカとカリブ海の 6 地域で見ると、アジアが全体の約 68%、アフリカが約 30%を占めており、その他の 4 地域を合わせても、3%弱である。2000 年と比べると、アジアの比率が若干減少し、アフリカの比率が 3%ほど上昇しているが、大勢に変化はないといえるだろう。⁸

表 2. 世界のムスリム人口/地域別、2019 年

地域	ムスリム人口 (千人)	対全ムスリム人口比
アフリカ	555,713	29.6%
アジア	1,267,428	67.5%
ヨーロッパ	46,063	2.5%
ラテン・アメリカとカリブ海	1,501	0.1%
北アメリカ	6,462	0.3%
オセアニア	663	0.0%
合計	1,877,830	100.0%

資料：ムスリム人口/ 表 3.の国別ムスリム人口を合計。

2019 年の推計においてもムスリム人口の多くが、アジア、アフリカの発展途上地域に在住しているものの、近年における欧米の先進諸国におけるムスリム人口の増加は注目すべき点である。2000 年と 2019 年を比べると、ヨーロッパのムスリム人口が世界に占める割合は、2.4%から 2.5%へと若干上昇している。ムスリムの存在感の高まりは、「テロリズム」や「IS」との関連で取りざたされることが多いが、多文化主義や社会統合という将来の世界各国の社会システムのあり方を構想する上でも考慮しなければならない事柄である。

表 3 にあるように、ヨーロッパの OECD 諸国のほとんどではムスリム人口が全人口の 1%以上となっており、絶対数もフランス 280 万人、ドイツ 360 万人、イギリス 300 万人、スペイン・イタリアは各々 120 万人、オランダも 100 万人と膨大なムスリム人口を抱えている。その他の OECD 諸国も数十万人程度の人口を抱えており、合計すると 1500 万人程度のムスリム人口となる。一方、北米のアメリカ、カナダは合わせて 650 万人、人口に占める比率は

各々2~3%程度である。オセアニアのオーストラリア、ニュージーランドも人口の1%を超えており、合わせて60万人程度のムスリム人口を擁している。これら欧米のOECD諸国を合わせると、ムスリム人口は、2200万人程度となっている。

表3. 世界のムスリム人口/各国別、2019年

国名	人口(千人)	ムスリム比率 (%)	ムスリム人口 (千人)
ソマリア	15,443	99.0	15,289
コモロ	851	98.4	837
ジブチ	974	94.1	917
マイヨット	266	96.5	257
エリトリア	3,497	50.0	1,749
タンザニア	58,005	35.0	20,302
エチオピア	112,079	34.1	38,219
モザンビーク	30,366	17.9	5,436
マラウイ	18,629	20.0	3,726
モーリシャス	1,270	17.3	220
ウガンダ	44,270	12.1	5,357
マダガスカル	26,969	2.0	539
レユニオン	889	4.2	37
ケニア	52,574	11.2	5,888
ブルンジ	11,531	3.5	404
セイシェル	98	1.6	2
ルワンダ	12,627	2.0	253
ザンビア(a)	17,861	0.4	71
ジンバブエ(a)	14,645	0.9	132
チャド	15,947	57.0	9,090
カメルーン	25,876	20.9	5,408
中央アフリカ	4,745	10.0	475
コンゴ共和国	5,381	1.6	86
コンゴ民主共和国	86,791	10.0	8,679
赤道ギニア	1,356	4.1	56
ガボン	2,173	6.4	139
西サハラ(b)	582	100.0	582

アルジェリア	43,053	99.7	42,924
モロッコ	36,472	99.0	36,107
チュニジア	11,695	99.0	11,578
リビア	6,777	96.6	6,547
エジプト	100,388	90.0	90,349
スーダン	42,813	68.4	29,284
南アフリカ	58,558	2.5	1,464
アンゴラ	31,825	0.7	223
ボツワナ	2,304	0.3	7
エスワティニ	1,148	1.0	11
モーリタニア	4,526	99.1	4,485
ガンビア	2,348	90.0	2,113
セネガル	16,296	95.4	15,546
マリ	19,658	94.8	18,636
ニジェール	23,311	90.0	20,980
ギニア	12,771	86.7	11,072
シエラレオネ	7,813	65.0	5,078
ブルキナファソ	20,321	61.6	12,518
ナイジェリア	200,964	50.5	101,487
コートジボアール	25,717	40.2	10,338
カーボベルデ	550	1.8	10
ギニア・ビサオ	1,921	45.1	866
リベリア	4,937	12.2	602
トーゴ	8,082	13.7	1,107
ガーナ	30,418	17.6	5,354
ベニン	11,801	24.4	2,879
モンゴル	3,225	3.0	97
中国	1,433,784	1.8	25,808
香港	7,436	1.5	112
台湾(c)	23,774	0.6	143
日本(a)	126,860	0.1	127
モルジブ	531	100.0	531
アフガニスタン	38,042	99.0	37,662
イラン	82,914	99.3	82,334
パキスタン	216,565	96.4	208,769

バングラデシュ	163,046	89.1	145,274
ウズベキスタン	32,982	76.2	25,132
トルクメニスタン	5,942	87.2	5,181
タジキスタン	9,321	84.0	7,830
キルギスタン	6,416	60.8	3,901
カザフスタン	18,551	70.2	13,023
インド	1,366,418	14.2	194,031
スリランカ	21,324	9.7	2,068
ネパール	28,609	4.4	1,259
インドネシア	270,626	87.2	235,986
ブルネイ	433	78.8	341
マレーシア	31,950	61.3	19,585
シンガポール	5,804	14.9	865
フィリピン	108,117	5.1	5,514
タイ	69,626	9.0	6,266
ミャンマー	54,045	4.3	2,324
カンボジア	16,487	4.0	659
ベトナム(a)	96,462	0.2	193
東チモール(a)	1,293	3.8	49
バーレーン	1,641	70.0	1,149
イエメン	29,162	100.0	29,162
トルコ	83,430	97.5	81,344
パレスチナ(a)	4,981	98.0	4,881
イラク	39,310	96.0	37,738
サウジアラビア	34,269	94.0	32,213
ヨルダン	10,102	97.2	9,819
アラブ首長国連邦	9,771	62.0	6,058
カタール	2,832	83.0	2,351
アゼルバイジャン	10,048	96.0	9,646
オマーン	4,975	85.9	4,274
シリア	17,070	85.0	14,510
クウェート	4,207	76.7	3,227
レバノン	6,856	54.0	3,702
キプロス	1,199	1.8	22
イスラエル	8,519	17.5	1,491

グルジア	3,997	19.5	779
北マケドニア	2,083	32.0	667
ブルガリア	7,000	10.0	700
ロシア	145,872	16.0	23,340
ウクライナ	43,994	1.0	440
モルドバ	4,043	5.5	222
ルーマニア(a)	19,365	0.3	58
スウェーデン	10,036	4.0	401
イギリス	67,530	4.4	2,971
デンマーク	5,772	4.0	231
ノルウェー	5,379	2.3	124
フィンランド(a)	5,532	0.5	28
アルバニア	2,881	58.8	1,694
ボスニア・ヘルツェゴビナ	3,301	45.0	1,485
セルビア・(モンテネグロ)	8,772	3.1	272
モンテネグロ	628	19.1	120
コソボ(d)	1,782	95.6	1,704
ジブラルタル(a)	34	4.0	1
クロアチア	4,130	1.5	62
ギリシア	10,473	5.0	524
イタリア	60,550	2.0	1,211
スペイン	46,737	2.5	1,168
スロベニア	2,079	2.4	50
マルタ	440	0.7	3
フランス	65,130	4.3	2,801
オランダ(a)	17,097	5.7	975
リヒテンシュタイン	38	4.1	2
ベルギー	11,539	4.0	462
スイス	8,591	4.3	369
オーストリア	8,955	4.2	376
ドイツ	83,517	4.3	3,591
ルクセンブルグ	616	2.0	12
アメリカ合衆国	329,065	1.6	5,265
カナダ	37,411	3.2	1,197
スリナム	581	13.9	81

ガイアナ	783	7.2	56
ブラジル(a)	211,050	0.1	211
アルゼンチン	44,781	1.5	672
トリニダード・トバゴ	1,395	4.9	68
パナマ(a)	4,246	0.7	30
メキシコ(c)	127,576	0.3	383
フィジー	890	6.3	56
ニュージーランド(b)	4,783	1.1	53
オーストラリア	25,203	2.2	554
世界人口	7,713,468	ムスリム人口	1,877,830

資料：人口：UN., *World Population Prospects 2019: Data Booklet*, 2019(web ver.)

ムスリム比率/主として、*Encyclopedia Britannica, 2017 Book of the Year, 2017.* を利用。

CIA, *The World Factbook 2019* (web ver.) および Richard P. Weekes, *Muslim Peoples: A World Ethnographic Survey*, 2nd ed. 1984 を補助的に使用した。

(注) ムスリム人口/人口 x 各国のムスリム比率で算出した。

太字の国々は、イスラム協力機構加盟国または同機構オブザーバーである。

(a) Pew Research Center, *World Muslim Population by Country: Interactive Data Table* (Nov. 17, 2017)

(b) CIA, *The World Factbook 2019*(web ver.) (Date of Ref. 2019/3/18)。

(c) *Encyclopedia Britannica*, <http://www.britannica.com>(as of 2011)

(d) *Encyclopedia Britannica, 2017 Book of the Year, 2017.* 人口データも参照。

2. 日本のムスリム人口 ⁹

本稿の推計では、法務省が公開している「在留外国人統計」第1表の在留外国人数を利用し、それぞれの国籍の人数に各国別のムスリム人口比率を掛け合わせた人口をまず算出した。更に在留資格の「日本人の配偶者等（日本人の配偶者と子）」および「永住者」の数が示されている場合には、同様のムスリム人口比率を利用して、「日本人の配偶者等（日本人の配偶者または子）」および「永住者」としてのムスリム人口を算出している。それらの推計結果は、表4.に記載したが、紙幅の関係で、主要なイスラム社会のみ具体的な国名とデータを提示した。この他に、ほぼ同じ時点での「不法残留者」として国籍が公表されているインドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピン、タイ、スリランカ、ベトナム、中国、台湾などの外国人については、同様にムスリム人口比率を利用して、ムスリムの「不法残留者」を推計した（表5.）。

以上の推計結果から、2019年12月末現在で、正規の滞在資格を有する外国人ムスリム、176,776人、内訳として「日本人の配偶者等」資格のムスリム、8,808人(日本人の配偶者、8,294人、日本人の子、514人)、「永住者」資格のムスリム、38,557人、「永住者の配偶者等」資格のムスリム、3,143人、「定住者」資格のムスリム、9,181人が含まれている。この他に、「不法残留者」のムスリム、6,390人の存在が推計されることから、日本に住んでいる外国人ムスリムは、合計で183,166人である。

一方、国内の日本人ムスリムについては、拙稿「日本人ムスリムとは誰のことか」において、2016年末現在の「在留外国人統計」を利用して推計した結果を援用して、日本人ムスリム人口の推計を実施する事とした。

まず2016年末時点の日本人ムスリムの人口推計結果は、以下のようである。詳細は省略するが、年齢別の在留外国人の割合も推計しつつ、「在留外国人統計」にある「日本人の配偶者等」および「永住者」の在留資格を有する在留外国人数を利用した推計によれば、婚姻を契機としてムスリムになった日本人、1万2千、子どもや若者(25歳未満と想定して推計)の日本人ムスリム、2万3千、である。この他、「官報」から得られる帰化者データを利用した推計から、帰化した「日本人ムスリム」が3千、この他、日本ムスリム協会等の資料から推計した、自ら入信した日本人ムスリムが2千である。以上を合計した4万というのが、2016年末時点の日本人ムスリムの推計人口であった。

以上の2016年時点の推計人口をもとに、2019年12月末現在の日本人ムスリム人口を簡便な方法によって推計する。2019年12月末現在における、「日本人の配偶者等」資格のムスリム、8,808人、「永住者」資格のムスリム、38,557人に対して、2016年末時点においては、前者が7,543人、後者が33,727人である。両者をあわせた変化を見ると、2019年12月末現在、47,365人、2016年末時点、41,270人であり、約1.5割の増加である。¹⁰

そこで、2019年12月末現在の日本人ムスリムの推計人口として、それぞれのカテゴリーで約1.5割の増加と想定して、婚姻を契機としてムスリムになった日本人が、1万4千、子どもや若者の日本人ムスリムが、2万6千、と推計することとした。帰化した「日本人ムスリム」については、1年間のムスリムの帰化者数が2014年以降はほぼ年間180人前後であることから、¹¹3年間でおよそ5百人の増加が想定されるため、3千5百人とする。新たな入信者については、数百人規模の増加は想定されることから、2千3百人とする。以上を合計して、2019年12月現在の日本人ムスリムの推計人口として、4万6千とすることとした。

上記の推計結果から、2019年12月末現在の日本におけるムスリム人口全体の規模として、外国人ムスリムが18万3千、日本人ムスリムが4万6千となり、日本に住んでいるムスリムの推計人口総数は、約23万である。

表4. 日本の外国人ムスリム人口推計/2019年12月末現在

国名	在留外国人人数	国別ムスリム比率	外国人ムスリム人口	日本人の配偶者の外国人ムスリム	日本人の子の外国人ムスリム	永住者の外国人ムスリム	永住者の配偶者等の外国人ムスリム	定住者の外国人ムスリム
タンザニア	444	35.0	155	25	0	47	3	9
エチオピア	451	34.1	154	13	0	32	2	19
ウガンダ	696	12.1	84	12	0	15	1	8
ケニア	789	11.2	88	6	0	20	1	2
カメルーン	857	20.9	179	20	0	19	4	7
アルジェリア	212	99.7	211	30	2	59	7	5
モロッコ	654	99.0	647	179	0	212	13	11
チュニジア	693	99.0	686	126	0	117	29	28
リビア	63	96.6	61	3	1	10	1	1
エジプト	2239	90.0	2015	118	1	269	14	44
スーダン	283	68.4	194	15	0	31	3	8
ガンビア	89	90.0	80	9	0	18	4	0
セネガル	780	95.4	744	131	0	163	16	26
マリ	194	94.8	184	29	0	73	9	16
ギニア	439	86.7	381	54	0	154	36	16
ブルキナファソ	114	61.6	70	6	0	12	0	4
ナイジェリア	3201	50.5	1617	246	0	796	72	75
コートジボアール	157	40.2	63	4	0	14	2	4
ガーナ	2404	17.6	423	48	0	206	26	28
アフガニスタン	3350	99.0	3317	24	0	249	35	249
イラン	4170	99.3	4141	286	0	2603	124	209
パキスタン	17766	96.4	17126	692	4	4834	825	1246
バングラデシュ	16632	89.1	14819	357	0	3119	411	470

ウズベキスタン	3627	76.2	2764	57	1	197	16	40
タジキスタン	203	84.0	171	4	0	4	1	3
キルギスタン	553	60.8	336	19	0	18	1	2
カザフスタン	465	70.2	326	25	1	33	1	4
インド	40202	14.2	5709	65	1	918	57	85
スリランカ	27367	9.7	2655	76	1	315	34	43
ネパール	96824	4.4	4260	42	0	216	30	38
インドネシア	66860	87.2	58302	1675	179	5809	290	1952
マレーシア	10862	61.3	6658	326	9	1765	32	102
シンガポール	3164	14.9	471	49	2	148	1	5
フィリピン	282798	5.1	14423	1138	224	6729	349	2772
タイ	54809	9.0	4933	636	21	1847	65	360
ミャンマー	32049	4.3	1378	20	0	96	6	107
カンボジア	15020	4.0	601	11	0	66	7	8
ベトナム	411968	0.2	824	9	0	34	4	11
イエメン	122	100.0	122	6	0	6	0	13
トルコ	5419	97.5	5284	774	2	1019	242	257
パレスチナ	71	98.0	70	9	0	4	0	3
イラク	163	96.0	156	12	0	9	1	5
サウジアラビア	573	94.0	539	18	1	9	0	0
ヨルダン	193	97.2	188	25	0	46	3	7
アラブ首長国連邦	124	62.0	77	0	0	1	0	0
アゼルバイジャン	128	96.0	123	7	0	20	4	2
シリア	865	85.0	735	24	1	53	5	162
レバノン	146	54.0	79	12	0	16	1	3
イスラエル	622	17.5	109	16	0	38	1	3
外国人ムスリムの推計人口	主要なイスラーム社会		158,731	7,487	451	32,490	2,790	8,469
	その他の国々		<i>18,045</i>	<i>807</i>	<i>63</i>	<i>6,067</i>	<i>353</i>	<i>712</i>
	合計		176,776	8,294	514	38,557	3,143	9,181

資料：「在留外国人統計」2019年12月末、法務省ウェブページ（2020年8月4日参照）

表5. 「不法残留」の外国人ムスリム人口推計 2020年1月1日現在

国籍	不法残留者数	ムスリム人口推計
中国	10,902	196
台湾	3,730	22
スリランカ	1,112	108
インドネシア	4,180	3,645
マレーシア	1,846	1,132
シンガポール	994	148
フィリピン	6,061	309
タイ	8,872	798
ベトナム	15,561	31
合計	***	6,390

資料：法務省ウェブページ「国籍・地域別男女別 不法残留者数の推移」

2.1 都道府県別のムスリム人口推計

次に、都道府県別のムスリム人口推計を実施する。「在留外国人統計」には、都道府県別・国籍別の在留外国人数が報告されており、それを利用して推計した。

外国人ムスリムが多い、「主要なイスラム社会」（人口100万以上で、全人口に占めるムスリム比率が50%以上の国）のうち、在留外国人数が多い上位10ヶ国について、都道府県別のムスリム人口を推計した。各国別の在留ムスリム人口は、在留外国人数に同国のムスリム比率を乗じて、算出した。それら10カ国は、アフガニスタン、バングラデシュ、インドネシア、イラン、マレーシア、パキスタン、トルコ、ウズベキスタン、ナイジェリア、エジプトである。その結果、上位10ヶ国の滞日ムスリム人口の合計は、約11万6千であった。その他の国・地域出身のムスリム人口、および、日本人ムスリム人口を合わせた、2019年末現在の滞日ムスリム人口は23万と推計済みである。そこで、上位10ヶ国のムスリム人口の都道府県別の比率を基準として、各都道府県の滞日ムスリム人口を推計した。

その結果を表6.に見ると、多い順に、東京都には3万2千、愛知県に2万2千、埼玉県に2万1千、神奈川県に1万6千、千葉県に1万5千、茨城県に1万4千、大阪府に1万と、以上の7都府県に、各々1万人以上のムスリムが居住しているものと思われる。ムスリム人口がもっとも少ないのは秋田県の3百であり、この他、5百前後の県として、青森、山形、和歌山、鳥取、島根の各県があるが、全国すべての都道府県にムスリムが居住している。因みに、東京都の場合でも都人口の0.2%程度を占めるに過ぎない。滞日ムスリム人口全体

の大都市圏への集住は顕著であり、関東1都6県に49%、中京3県(愛知、岐阜、静岡)に15%、関西3府県(京都、大阪、兵庫)に8%と、これら3地域あわせて72%に達する。

表6. 都道府県別・滞日ムスリム人口の推計 2019 年末現在

都道府県名(注)	主要10ヶ国 ムスリム人口 *	都道府県内・ムスリム 人口推計**	構成比率
北海道	1,767	3,502	1.5
青森	273	541	0.2
岩手	343	681	0.3
宮城	1,697	3,363	1.5
秋田	170	337	0.1
山形	346	686	0.3
福島	776	1,539	0.7
茨城	6,934	13,744	6.0
栃木	2,928	5,803	2.5
群馬	4,331	8,585	3.7
埼玉	10,900	21,603	9.4
千葉	7,625	15,113	6.6
東京都	16,197	32,103	14.0
神奈川県	8,141	16,135	7.0
新潟	1,134	2,248	1.0
富山	1,347	2,670	1.2
石川	957	1,896	0.8
福井	424	841	0.4
山梨	432	857	0.4
長野	1,594	3,160	1.4
岐阜	1,872	3,711	1.6
静岡	4,160	8,245	3.6
愛知	11,276	22,350	9.7
三重	2,173	4,307	1.9
滋賀	1,402	2,780	1.2
京都	1,733	3,435	1.5
大阪	5,368	10,639	4.6
兵庫	2,550	5,055	2.2
奈良	534	1,059	0.5

和歌山	255	505	0.2
鳥取	254	504	0.2
島根	278	551	0.2
岡山	1,623	3,217	1.4
広島	2,515	4,984	2.2
山口	720	1,427	0.6
徳島	464	921	0.4
香川	1,025	2,031	0.9
愛媛	621	1,230	0.5
高知	355	705	0.3
福岡	2,633	5,218	2.3
佐賀	768	1,522	0.7
長崎	397	787	0.3
熊本	861	1,707	0.7
大分	1,187	2,352	1.0
宮崎	830	1,644	0.7
鹿児島	533	1,057	0.5
沖縄	1,189	2,357	1.0
未定・不詳	147	292	0.1
合計	116,042	230,000	100

資料:「在留外国人統計」(2019 年末現在)より筆者作成。

* 主要 10ヶ国は、ムスリム移民が多い以下の国々である。

インドネシア、パキスタン、バングラデシュ、マレーシア、イラン

トルコ、アフガニスタン、エジプト、ナイジェリア、ウズベキスタン

各国のムスリム人口比率を利用して、ムスリム人口を算出した。

** 滞日ムスリム人口23万については、本文を参照。

各都道府県のムスリム人口は、主要 10ヶ国のムスリム人口の比率をもとに算出した。

(注) 網掛けの県には、モスクが存在しないと思われる(2020 年末現在)。

2.2 年齢階級別の在留外国人数 (主要なイスラム社会の上位 10 カ国)

次いで、主要なイスラム社会の上位 10 カ国について、年齢階級別の在留外国人数を提示する。本稿では、在留外国人統計のデータを元に、五歳階級別に集計した。また、この表は、ムスリム人口推計ではなく、10 カ国それぞれの在留外国人数であることに留意いただきたい

い。従って、各国別の年齢階級別の構成比を見るための原表という性格のものである。各国別の年齢構成を概観してみると、インドネシアやマレーシアで若年層が多いことや、イランなどでは中高年層に偏りがあること、また、前者では女性人口、後者では男性人口が相対的に大きいことなど、国籍によって、年齢構成は大きく異なる。具体的には、主要6カ国について、2012年末現在の人口ピラミッドを以前に作成しているので、そちらを参照していただければ幸いである。¹² 構成比については、男女人口それぞれの合計を100%として、構成比を算出して表示している。

なお、最初の枠にあるアルファベットは、国名の略記であり、それら10カ国は順に、アフガニスタン、バングラデシュ、インドネシア、イラン、マレーシア、パキスタン、トルコ、ウズベキスタン、ナイジェリア、エジプトである。表は、適宜、分割して表示してある。

表7. 5歳年齢階級別の在留外国人数 (主要なイスラム社会の上位10カ国)

総 数	総数		5歳 未満		10歳 未満		15歳 未満		20歳 未満	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
A 3350	2,263	1,087	212	188	187	162	165	127	159	66
B 16632	11,389	5,243	699	709	530	521	261	265	253	181
IN 66860	45,519	21,341	814	815	521	499	324	344	2935	1422
IR 4170	3,316	854	40	45	45	47	44	47	41	32
M 10862	5,622	5,240	206	203	182	140	108	74	206	196
P 17766	13,016	4,750	702	660	663	602	628	512	658	379
T 5419	4,196	1,223	184	172	123	122	85	75	149	46
U 3627	2,845	782	109	110	88	70	40	30	106	25
N 3201	2,687	514	88	85	45	48	26	21	33	34
E 2239	1,405	834	132	137	136	91	54	45	24	27
Total 134,126	92,258	41,868	3,186	3,124	2,520	2,302	1,735	1,540	4,564	2,408
構成比 (%)	100	100	3.5	7.5	2.7	5.5	1.9	3.7	4.9	5.8

(注)

A:アフガニスタン、B:バングラデシュ、IN:インドネシア、IR:イラン、M:マレーシア、P:パキスタン、T:トルコ、U:ウズベキスタン、N:ナイジェリア、E:エジプト。

25 歲未滿		30 歲未滿		35 歲未滿		40 歲未滿		45 歲未滿	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
136	87	254	136	309	120	289	64	225	60
1971	537	1963	1016	1514	849	1251	571	945	310
20662	6829	11249	4144	3529	2035	2115	1801	1575	1450
62	55	97	71	179	141	190	137	113	82
1612	1133	926	743	671	549	507	383	391	366
1023	334	1275	422	1417	504	1293	504	1170	366
432	138	627	185	644	168	654	132	588	75
1200	129	692	144	343	131	175	76	69	42
45	29	128	46	223	79	311	71	362	53
38	49	158	169	337	177	201	86	120	21
27, 181	9, 320	17, 369	7, 076	9, 166	4, 753	6, 986	3, 825	5, 558	2, 825
29. 5	22. 3	18. 8	16. 9	9. 9	11. 4	7. 6	9. 1	6. 0	6. 7

50 歲未滿		55 歲未滿		60 歲未滿		65 歲未滿		70 歲未滿	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
173	34	79	14	26	13	19	6	16	6
646	171	741	73	477	26	112	5	18	6
1020	870	491	517	154	260	67	157	38	104
273	60	1438	55	578	37	133	22	44	10
352	380	248	423	118	343	47	186	29	95
1191	225	1530	138	961	54	372	28	94	11
359	53	212	28	94	13	26	7	10	4
17	11	5	4	0	0	0	3	1	1
564	24	521	13	267	6	62	2	10	3
79	9	46	5	45	3	20	8	8	6
4, 674	1, 837	5, 311	1, 270	2, 720	755	858	424	268	246
5. 1	4. 4	5. 8	3. 0	2. 9	1. 8	0. 9	1. 0	0. 3	0. 6

75 歳未満		80 歳未満		80 歳以上	
男	女	男	女	男	女
11	3	2	1	1	0
5	0	3	1	0	2
8	50	10	25	7	19
25	8	8	1	6	4
12	19	6	5	1	2
24	4	9	4	6	3
5	2	2	1	2	2
0	4	0	1	0	1
2	0	0	0	0	0
3	1	3	0	1	0
95	91	43	39	24	33
0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1

2.3 在留資格別の在留外国人数 （主要なイスラム社会の上位 10 カ国）

最後に、在留資格別の在留外国人数を、まとめておこう。主要なイスラム社会の上位 10 カ国について、すべての在留資格の状況を、実数(資格を有する人数)で明記することとした。この表も年齢階級別の表と同じく、ムスリム人口推計ではなく、10 カ国それぞれの在留外国人数であることに留意いただきたい。従って、各国別の在留資格別の構成比を見るための原表という性格のものである。また、前表と同様に、最初の枠にあるアルファベットは、国名の略記であり、それら 10 カ国は順に、アフガニスタン、バングラデシュ、インドネシア、イラン、マレーシア、パキスタン、トルコ、ウズベキスタン、ナイジェリア、エジプトである。

在留資格は、適宜、項目をまとめて表示した。例えば、高度専門職は、1 号イ、1 号ロ、1 号ハ、2 号に、分かれているが、高度専門職としたほか、特定技能、技能実習、特定活動についても、同様に、まとめて表示することとした。

最後の合計欄には、実数とそれぞれの資格の占める構成比率を表示したが、国籍によって、資格の構成比はかなり差異があるので、外国人ムスリムの在留資格について言及する際には、注意が必要である。なお表は、分割して表示した。

表8. 主要なイスラム社会の上位10カ国：在留外国人の在留資格

総数	教授	宗教	高度専門職	芸術・報道	経営・管理	技術・人文知識・国際業務	企業内転勤	技能
A 3,350	-	-	5	-	280	818	21	3
B 16,632	143	17	48	1	331	2,253	28	343
IN 66,860	133	66	88	2	32	3,511	686	199
IR 4,170	53	-	52	1	45	159	3	60
M 10,862	75	16	101	-	75	2,004	246	64
P 17,766	23	31	39	-	1,284	2,340	58	266
T 5,419	34	4	46	5	104	247	40	146
U 3,627	7	-	23	-	12	483	5	8
N 3,201	7	37	3	-	13	97	2	-
E 2,239	93	3	60	1	26	175	7	14
Total 134,126	568	174	465	10	2,202	12,087	1,096	1,103
構成比 (%)	0.4	0.1	0.3	0.0	1.6	9.0	0.8	0.8

(注)

A:アフガニスタン、B:バングラデシュ、IN:インドネシア、IR:イラン、M:マレーシア、P:パキスタン、T:トルコ、U:ウズベキスタン、N:ナイジェリア、E:エジプト。

法律・会計 業務	医療・介護	研究・教育	興 行	特定技能	技能実習
-	-	2	-	-	-
-	1	36	-	2	166
-	201	44	10	189	35,404
-	-	10	1	-	-
-	4	49	2	-	171
-	1	19	1	-	5
-	1	28	2	-	12
-	-	4	3	-	20
-	-	52	4	-	-
-	-	14	-	-	-
-	208	258	23	191	35,778
---	0.2	0.2	0.0	0.1	26.7

留 学	文化活動・研 修	家族滞在	特定活動・イ ンターシ ップ	特 定 活 動 ・ EPA 対象者	特定活動・そ の他
173	2	1,584	-	-	35
3,624	46	3,502	2	-	1,190
7,512	201	3,251	608	1,887	1,421
223	18	244	1	-	43
3,234	64	1,022	31	-	33
600	22	3,936	-	-	1,243
281	23	352	1	-	1,736
2,038	5	584	-	-	25
223	10	220	-	-	163
408	113	800	-	-	26
18,316	504	15,495	643	1,887	5,915
13.7	0.4	11.6	0.5	1.4	4.4

永住者	日本人の配偶者等			永住者の 配偶者等	定住者	特別永住 者
	計	日本人の 配偶者	日本人の 子			
252	24	24	-	28	119	-
3,500	401	401	-	461	527	-
6,662	2,126	1,921	205	332	2,238	8
2,621	288	288	-	125	210	9
2,880	546	531	15	52	167	11
5,015	722	718	4	856	1,293	2
1,045	796	794	2	248	264	-
258	76	75	1	21	52	-
1,577	487	487	-	142	148	14
299	132	131	1	16	49	2
24,109	5,598	5,370	228	2,281	5,067	46
18.0	4.2	4.0	0.2	1.7	3.8	0.0

3. まとめにかえて

2019年現在、およそ19億のムスリム人口が、将来的にはどのくらいの規模になるであろうか。2030年と2050年のムスリム人口について、国連の「世界人口推計2019年」による世界人口（2030年と2050年の中位推計人口）をベースとして推計してみた。ムスリム人口比率が2019年と同じく24.3%と仮定すると、2030年と2050年には、世界のムスリム人口は、それぞれ20.8億と23.7億になるものと推計される。

一方、2015年にピュー・リサーチ・センターが発表した宗教人口推計¹³によれば、2050年の世界のムスリム人口推計は、27億6千万である。同センターの推計では、2050年の世

界人口が約 93 億人（「世界人口推計 2019 年」では約 97 億）となっており、従って、世界人口に占める割合は、29.7%となっている。

一方、日本のムスリム人口は、欧米の先進諸国に比べると、人口規模や全人口にしめる割合も低いのが現状であるが、われわれの調査研究から見ても、国内に「ムスリム・コミュニティ」が根付きつつあるのは確かである。¹⁴ 政府や地方自治体が「多文化共生」施策を実施していく上でも、日本のムスリム人口の動向を視野に入れていくことが今後必要であろう。因みに前述の 2015 年のピュー・リサーチ・センターによる、日本のムスリム人口に関する将来推計は、2050 年については全人口の 0.3%となっており、約 31 万という滞日ムスリム人口推計が報告されている（この時点の日本人口は、1 億 778 万として推計されている）。¹⁵ 本稿における 23 万という人口推計と比べれば、2015 年時点の推計ではあるが、過小な将来推計ということが言えるかも知れない。

将来の日本のムスリム人口の規模については、2019 年 4 月からの「特定技能」資格の導入による外国人労働者受入政策の変更などを考慮すれば、今後も増加の傾向が予想される場所であったが、2020 年からのコロナ禍による在留外国人人口への影響もあって、今後しばらくの動向は定かではないのが現状である。とはいえ、滞日ムスリム人口については、将来的にもその存在感は注視していく必要があることは間違いないと考えられる。

付記：本報告は、科学研究費基盤研究（C）課題番号 18K01976「滞日ムスリム・コミュニティの地域社会活動と地方自治体の多文化共生政策の課題」（研究代表者・店田廣文）による研究成果の一部である。

¹ 店田廣文・岡井宏文「日本のイスラーム：ムスリム・コミュニティの現状と課題」『宗務時報』119号、2015年。店田廣文『日本のモスク：滞日ムスリムの社会的活動』山川出版社、2015年。

² 店田廣文「日本人ムスリムとは誰のことか」『社会学年誌』59号、2018年、同「日本におけるイスラーム系宗教団体とコミュニティ」『社会分析』45号、2018年。モスクの数については、巻末資料参照。

³ 店田廣文「世界と日本のムスリム人口 2018年」『人間科学研究』32巻2号、2019年。

⁴ サミュエル・ハンチントン『文明の衝突』（鈴木主税訳、1998年、集英社）91頁。Jean Bourgeois-Pichat, “Le nombre des homes: etat et prospective”, Albert Jacquard, *Les Scientifiques Parlent*, Hachette, 1987, p.154, Tableau 7.

⁵ 最近よく利用されているムスリム人口推計として、次の資料がある。この資料によれば、2010年のムスリム人口推計は、16億19百万人である。Pew Research Center, *The Future of the Global Muslim Population Projections for 2010-2030*, January 27, 2011. また2015年4月に、2010～2050年の世界の宗教人口に関する推計も公開された。*The Future of World Religions: Population Growth Projections, 2010-2050*, April 2, 2015 (<http://www.pewforum.org/2015/04/02/religious-projections-2010-2050/> 2019年4月6日参照)。

⁶ 店田廣文「イスラーム世界の将来人口」『統計』53巻5号（2002年5月）、店田廣文「世界のムスリム人口・日本のムスリム人口」『在日ムスリムの社会経済的活動と宗教的ネットワークに関する調査研究』2007～2008年度科学研究費補助金最終報告書、早稲田大学人間科学学術院（2009年）。

⁷ *World Christian Encyclopedia*, 2nd ed. Oxford University Press, 2001.

⁸ 店田廣文「イスラーム世界の将来人口」（前掲）参照。

⁹ ブリタニカの2011年版には日本のムスリム人口比率の記載があり、同書記載の0.1%を採用すれば、2017年の滞日ムスリム人口は約13万となる。ピュー・リサーチ・センターの2011年発行の推計では、2010年の滞日ムスリム人口は、約18万5千（全人口の約0.1%）である。Pew Research Center, *The Future of the Global Muslim Population Projections for 2010-2030*, January 27, 2011. 因みに、同レポートによる2030年の滞日ムスリム人口推計は、17万1千と若干減少している。また、同センターが

2015年に発表した *The Future of World Religions: Population Growth Projections, 2010-2050*, April 2, 2015によれば、2010年は、20万、2050年は、31万である。なお、2017年には、*World Muslim Population by Country: Interactive Data Table* (Nov. 17, 2017)が発表されており、同表には、日本のムスリム人口として、183,000 (2009年) が掲載されている。

¹⁰ 2019年末の在留外国人統計では、「日本人の配偶者等」の在留資格の内訳が明記されている。それによって、日本人の配偶者と、日本人の子の実数が把握できるようになった。本稿では、そうした情報を利用した分析までは行えなかったが、次回以降の推計では考慮してみたい。

¹¹ 店田廣文「日本人ムスリムとは誰のことか」(前掲)。

¹² 店田廣文『日本のモスク』(前掲)、16-19頁。

¹³ Pew Research Center, *The Future of World Religions: Population Growth Projections, 2010-2050, Why Muslims Are Rising Fastest and the Unaffiliated Are Shrinking as a Share of the World's Population* (April 2, 2015).

¹⁴ 店田廣文『日本のモスク』(前掲)。

¹⁵ 脚注9. に記載した2015年の報告書による日本のムスリム人口推計結果は、以下の通りである。

<http://www.pewforum.org/2015/04/02/religious-projection-table/2050/number/all/> (2019年4月6日参照)。各年の滞日ムスリム人口推計は、20万(2010年)、20万(2020年)、24万(2030年)、27万(2040年)、31万(2050年)である。比率は、2010~2040年までは0.2%、2050年は0.3%である。

付表 全国モスクリスト (2020年10月現在)

No.	名称 (通称を記載)	所在地	所在地域	設立年
1	神戸モスク	兵庫県神戸市中央区	関西	1935
2	東京回教礼拝堂 (東京ジャーミイ)	東京都渋谷区	関東	1938(2000)
3	バライ・インドネシア礼拝所 *(97へ)	東京都目黒区	関東	1962
4	アラブ・イスラーム学院	東京都港区	関東	1982
5	一ノ割モスク	埼玉県春日部市	関東	1991
6	伊勢崎モスク	群馬県伊勢崎市	関東	1995
7	成増モスク (お花茶屋モスク)	東京都葛飾区	関東	1995(2001)
8	日向モスク	千葉県山武市	関東	1995
9	境町モスク	群馬県伊勢崎市	関東	1997
10	海老名モスク	神奈川県海老名市	関東	1998
11	行徳モスク	千葉県市川市	関東	1998
12	名古屋モスク	名古屋市中村区	中部・東海・北陸	1998
13	戸田モスク	埼玉県戸田市	関東	1999
14	大塚モスク	東京都豊島区	関東	1999
15	富山モスク	富山県射水市	中部・東海・北陸	1999
16	八潮モスク	埼玉県八潮市	関東	2000
17	浅草モスク	東京都台東区	関東	2000
18	足利モスク	栃木県足利市	関東	2000
19	つくばモスク	茨城県つくば市	関東	2001
20	新安城モスク	愛知県安城市	中部・東海・北陸	2001
21	高松モスク* [閉鎖]	香川県高松市	四国	2001
22	白井モスク	千葉県白井市	関東	2001
23	富士モスク	静岡県富士市	中部・東海・北陸	2001
24	大阪中央モスク	大阪市西淀川区	関西	2001
25	八王子モスク	東京都八王子市	関東	2002
26	各務原モスク	岐阜県各務原市	中部・東海・北陸	2002
27	新潟モスク	新潟県新潟市北区	中部・東海・北陸	2002
28	館林モスク	群馬県館林市	関東	2003
29	新居浜モスク	愛媛県新居浜市	四国	2003
30	蒲生モスク	埼玉県越谷市	関東	2003
31	小山モスク	栃木県小山市	関東	2005
32	いわきモスク	福島県いわき市	東北	2005
33	京都モスク	京都市上京区	関西	2005
34	横浜モスク	横浜市都筑区	関東	2006
35	所沢モスク	埼玉県所沢市	関東	2006
36	豊田モスク	愛知県豊田市	中部・東海・北陸	2006
37	名古屋港モスク	名古屋市港区	中部・東海・北陸	2006
38	浜松モスク	静岡県浜松市南区	中部・東海・北陸	2006
39	坂城モスク	長野県埴科郡坂城町	中部・東海・北陸	2006
40	館林サラマットモスク	群馬県館林市	関東	2006
41	マディーナ・モスク (小美玉)	茨城県小美玉市	関東	2006
42	水戸アブーバカルモスク	茨城県水戸市	関東	2006

43	<u>大阪茨木モスク</u>	大阪府茨木市	関西	2007
44	<u>仙台モスク</u>	仙台市青葉区	東北	2007
45	ベイトルムカッラムモスク	茨城県ひたちなか市	関東	2007
46	<u>札幌モスク</u>	北海道札幌市北区	北海道	2007
47	<u>春日井モスク</u>	愛知県春日井市	中部・東海・北陸	2007
48	<u>結城モスク</u>	茨城県結城市	関東	2008
49	<u>徳島モスク</u>	徳島県徳島市	四国	2008
50	<u>パーブ・アル=イスラーム岐阜モスク</u>	岐阜県岐阜市	中部・東海・北陸	2008
51	<u>小樽モスク</u>	北海道小樽市	北海道	2008
52	<u>坂戸モスク</u>	埼玉県坂戸市	関東	2008
53	<u>別府モスク</u>	大分県別府市	九州	2008
54	<u>岡山モスク</u>	岡山県岡山市北区	中国	2008
55	<u>石岡・小美玉モスク</u>	茨城県小美玉市	関東	2008
56	<u>鹿沼モスク</u>	栃木県鹿沼市	関東	2008
57	<u>一宮モスク</u>	愛知県一宮市	中部・東海・北陸	2008
58	<u>福岡モスク</u>	福岡県福岡市東区	九州	2009
59	<u>三重モスク</u>	三重県津市	関西	2009
60	<u>いわいモスク</u>	茨城県坂東市	関東	2009
61	<u>日立モスク</u>	茨城県日立市	関東	2009
62	<u>新潟第2モスク</u>	新潟県新潟市西区	中部・東海・北陸	2009
63	<u>千葉（四街道）モスク</u>	千葉県千葉市	関東	2009
64	<u>川越モスク</u>	埼玉県川越市	関東	2010
65	<u>御徒町モスク</u>	東京都台東区	関東	2010
66	<u>瀬戸モスク</u>	愛知県瀬戸市	中部・東海・北陸	2010
67	<u>福井モスク</u>	福井県福井市	中部・東海・北陸	2010
68	<u>埼玉モスク</u>	埼玉県さいたま市	関東	2011
69	<u>飛島モスク</u>	愛知県海部郡飛島村	中部・東海・北陸	2011
70	<u>木更津モスク</u>	千葉県木更津市	関東	2011
71	<u>東広島モスク</u>	広島県東広島市	中国	2012
72	<u>豊橋モスク</u>	愛知県豊橋市	中部・東海・北陸	2012
73	<u>熊本モスク</u>	熊本県熊本市中央区	九州	2013
74	<u>桐生モスク</u>	群馬県桐生市	関東	2013
75	<u>島根モスク</u>	島根県松江市	中国	2013
76	<u>蒲田モスク</u>	東京都大田区	関東	2013
77	<u>金沢モスク</u>	石川県金沢市	中部・東海・北陸	2014
78	<u>鳥取モスク</u>	鳥取県鳥取市	中国	2014
79	<u>富山五福モスク</u>	富山県富山市	中部・東海・北陸	2014
80	<u>鹿児島モスク</u>	鹿児島県鹿児島市	九州	2014
81	<u>沖縄モスク</u>	沖縄県中頭郡	沖縄	不詳
82	<u>盛岡モスク</u>	岩手県盛岡市	東北	2015
83	<u>大衡モスク</u>	宮城県黒川郡	東北	2015
84	<u>那須塩原モスク</u>	栃木県那須塩原市	関東	2015
85	<u>鈴鹿モスク（名称・鈴鹿が継続）</u>	三重県四日市市	中部・東海・北陸	2011？
86	<u>久喜モスク</u>	埼玉県久喜市	関東	不詳
87	<u>野田モスク</u>	千葉県野田市	関東	2016
88	<u>西葛西モスク</u>	東京都江戸川区	関東	2016

89	西千葉モスク	千葉県千葉市	関東	2016
90	甲府モスク	山梨県甲府市	関東	2016
91	佐野モスク	栃木県佐野市	関東	2017
92	相模原モスク	神奈川県相模原市	関東	2017
93	毛呂山モスク	埼玉県比企郡毛呂山町	関東	2017
94	鳩山モスク	埼玉県比企郡鳩山町	関東	2017
95	倉賀野モスク	群馬県高崎市	関東	2017
96	西尾モスク	愛知県西尾市	中部・東海・北陸	2017
97	マスジド・インドネシア東京	東京都目黒区	関東	2017
98	三原モスク	広島県三原市	中国	2017
99	東海モスク	神奈川県秦野市	関東	2017
100	和泉モスク	大阪府和泉市	関西	2017
101	綾部モスク	京都府綾部市	関西	2017
102	八幡モスク	京都府八幡市	関西	2017
103	大垣モスク	岐阜県大垣市	関西	2017
104	兵庫モスク	兵庫県神戸市	関西	2017
105	三郷モスク	埼玉県三郷市采女	関東	2017
106	三木モスク	兵庫県三木市岩宮	関西	2018
107	滋賀モスク	滋賀県草津市	関西	2018
108	静岡モスク (マスジド)	静岡市駿河区	中部・東海・北陸	2019. 10
109	新小岩モスク (マスジド)	東京都葛飾区	関東	2019. 10
110	茨城モスク	茨城県猿島郡	関東	2020. 1
111	長崎モスク	長崎県長崎市?	九州	不詳
112	太田モスク (マスジド)	群馬県太田市	関東	2020. 7
113	中津モスク	大分県中津市	九州	2020?
*	東十条モスク (閉鎖中) ??	東京都北区東十条	関東	2019?

注) 下線のあるモスクは、ウェブサイトを開設 (その他も確認中)。

3. バライインドネシア礼拝所は、98. マスジド・インドネシア東京の前身である。

21. 高松モスクは、後に、ムサッラーとなったが、その後、閉鎖。

資料) 早稲田大学多民族・多世代社会研究所 HP (<http://imemgs.com>)、「登記情報提供サービス」などをもとに筆者作成。